

HI 盃選手権試合 100周年記念特集

## 三菱庭球の歩み（年表）



2023年10月

三菱庭球同好会

(出典)

- ・三菱庭球同好会ホームページ →
- ・日本テニス協会ホームページ
- ・三菱広報委員会会員会社年表



### 三菱庭球の歩み(年表)

年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事
1870~ 明治3	1878 横浜・山手公園に外国人居留者専用テニスクラブ  1885 横山愛輔が米国でテニスを始める  1886 東京高師(筑波大)にテニス部  1895 岩崎彦彌太誕生  1897 三田士ゴムが国産軟式ボールを製造  1900 東京ローンテニスクラブ(日本人がプレー可能)		1871九十九商会 1872三川商会 1873三菱商会、吉岡鉱山 1875郵便汽船三菱商会 1879東京海上保険 1884長崎造船所 1885岩崎彌之助社長就任 1893岩崎久彌社長就任 1894三菱合資会社 1895同銀行部 1899合資営業部 1907麒麟麦酒、旭硝子 日本電線	廃藩置県 新橋-横浜鉄道開通 太陽暦、征韓論政変 樺太・千島交換条約 沖縄県  伊藤博文総理大臣
1911 明治44	三菱庭球部誕生 現在の丸の内パークビル敷地のコート		合資が造船・銀行等7部制	韓国併合 日米通商航海条約
1912 大正1			成蹊実務学校	タイタニック号遭難
1913 大正2		慶應大学が硬式を採用		
1914 大正3	三菱倶楽部に庭球部が統合			第一次世界大戦
1915 大正4	染井コート1面新設			
1916 大正5	第一回関東関西戦(神戸、雨天中止) 以降、東京、神戸、名古屋持回り開催、染井コート1面増設		岩崎小弥太社長就任	アインシュタイン 一般相対性理論
1917 大正6			日本光学工業(ニコン) 三菱造船、三菱製紙	ロシア革命
1918 大正7	米騒動の為中止		江戸川バリウム工業所 (ガス化学) 三菱倉庫、三菱商事 三菱鉱業 三菱銀行	シベリア出兵
1919 大正8	熊谷一彌(三菱合資)が全米3位 全米2位のチルデンを破る			チャップリン映画会社
1920 大正9	三菱本社庭球部で硬式を採用 関東関西戦は軟式(1922年から硬式へ移行) 熊谷一彌(三菱合資)がアントワープ五輪で単複銀メダル (複は柏尾誠一郎(三井物産))  清水善造(三井物産)が全英テニス選手権オール カマーズ制決勝(現在の準決勝)に進出		三菱内燃機製造	ベルサイユ条約
1921 大正10	熊谷一彌(三菱合資)デ杯出場(21、23~26)、決勝進出 清水善造、柏尾誠一郎(三井物産)と		三菱電機	
1922 大正11	岩崎彦彌太がロンドン留学、銀製カップを調達し寄贈 10月HIロンドンカップ創設、硬式採用、三菱庭球同好会 日本庭球協会創立(初代会長は朝吹常吉、 デ杯の興行資金2万円を活用) 第一回全日本選手権(優勝は福田雅之助)			ワシントン会議 海軍軍縮条約 20億人、日本58百万人
1923 大正12	第一回HIロンドンカップ戦(7/29、30、染井コート) 優勝は岩永侃爾(門司・鉱業)、決勝は5セット。38人参加		丸の内ビル	関東大震災(9/1) Walt Disney Company
1924 大正13	リチャード・原田模範試合(龍岡町岩崎邸コート) 全日本選手権女子開始(黒井梯子が優勝)		東洋文庫 清澄庭園を東京都へ 北洋商会(三菱食品)	センバツ野球大会
1925 大正14	福田雅之助がイースタングリップを紹介			普通選挙法
1926 大正15	岩崎彦彌太が帰国、三菱合資に入社、以降HI盃を毎年観戦 全日本選手権出場(岩崎彦彌太・青木岩雄組)			
1927 昭和2	4月4日 彦彌太、操子結婚。有志がご成婚記念カップを贈呈		三菱信託	リンドパーク大西洋横断
1928 昭和3			三菱航空機	織田幹雄が3段飛びで 日本人初の金メダル
1929 昭和4			鉛粉塗料(大日本塗料)	世界恐慌
1930 昭和5	 岩崎寛彌(彦彌太、長男)誕生			
1931 昭和6	佐藤次郎が全仏ベスト4、全英8		三菱石油	満州事変
1932 昭和7			三菱経済研究所	5.15事件
1933 昭和8	佐藤次郎がウィンブルドンSF、複F(布井良助)進出			日本、国際連盟脱退

年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事
1934 昭和9	山岸二郎(商事)デ杯出場(34, 35, 37, 38) 岩崎彦彌太が三菱本社副社長 <i>三木龍喜がウィンブルドンの ミックスダブルス優勝(ドロシー・ローランド)</i>		三菱商事三綱領 フェアプレイ(処事光明)は HI盃の大会精神 彦彌太副社長、三菱重工業	忠犬ハチ公銅像
1935 昭和10	HI盃の決勝は、5セットから3セットへ		化工機製作(三菱化工機) 三宝伸銅工業(三菱伸銅)	芥川賞、直木賞
1936 昭和11				2.26事件
1937 昭和12	支那事変のため中止 中野文照(電機)デ杯出場(37, 38, 51, 52)		三菱地所 三菱社に改称	日中戦争
1938 昭和13			六義園を東京都へ	国家総動員法
1939 昭和14		デ杯参加中止		第2次世界大戦
1940 昭和15			静嘉堂文庫を一般公開 三菱養和会	
1941 昭和16		主要競技中止		真珠湾攻撃
1942 昭和17	HI盃は通算20回、東西対抗は27回で幕を閉じる 20回大会優勝は林新緑(関西・電機) <i>日本庭球協会が大日本体育会「庭球部会」となる</i>		三菱製鋼	関門海底トンネル
1943 昭和18	戦時下で大会中止		三菱本社に改称	学徒出陣
1944 昭和19	金属回収令により関西関東戦の銀製カップを供出 HIカップは電機林氏が奇跡的に保管、復活大会前日に発見		三菱化成工業	レイテ沖海戦 本土空襲
1945 昭和20	岩崎彦彌太が三菱本社副社長辞任 <i>日本庭球協会復活</i>		三菱本社が自主解散を決定 岩崎小弥太永眠	広島・長崎原爆、終戦 GHQ財閥解体指令
1946 昭和21	染井コート復活、戦後第一回庭球懇親会(39名)			日本国憲法公布
1947 昭和22	石井小一郎(地所)が今生天皇(皇太子当時)のテニスコーチ <i>全日本選手権に天皇杯下賜</i>		商事解散	6・3制義務教育
1948 昭和23			千代田銀行と改称	
1949 昭和24			ふそう自動車販売	\$=360円単一レート 中華人民共和国
1950 昭和25			三菱重工3分割 三菱の商号、標準使用禁止	朝鮮戦争
1951 昭和26	岩崎彦彌太の公職追放解除、HI盃発会式 千代田銀行コート5面に、藤倉五郎(金商)デ杯出場(51)			サンフランシスコ平和条約
1952 昭和27	復活第一回HI盃(9/21(日)、千代田銀行コート) 優勝は藤倉五郎(金商)、以降6連覇。100人参加 100オトーナメント(彦彌太寄贈)、優勝は岩崎・山岸組(商事) 東西対抗は関東勝利、参加者は総勢約100人 <i>加茂幸子が全米出場</i>		三菱の商号復帰	水爆実験 GHQ廃止
1953 昭和28				朝鮮休戦協定
1954 昭和29	東西対抗優勝旗(同好会より)		<small>HI盃発会式 昭和26年12月 撮影</small>	力道山プロレスブーム
1955 昭和30	第1回全三井・全三菱テニス大会、三菱9-7勝利 <i>宮城淳・加茂公成組が全米選手権優勝</i>		岩崎久彌永眠	
1956 昭和31			三菱油化	国際連盟加盟
1957 昭和32				ソ連初の人工衛星
1958 昭和33	100オ→105オトーナメントに 石黒修(電機)デ杯出場(58, 60~66)		三菱原子力工業	東京タワー
1959 昭和34	<i>皇太子(今上天皇)のご成婚奉祝テニス大会</i>			
1960 昭和35			新菱建設(ピーエス建設)	
1961 昭和36	復活10周年記念大会、大会精神のHorizontal Integration 記念誌発行、半那毅男(電機)デ杯出場(61)			ベルリンに壁
1962 昭和37	女子ダブルス創設、優勝は牧・花田組(化成) 藤井道雄(電機)デ杯出場(62~65)		三菱プレジジョン、三菱樹脂 三菱レインズアルミニウム	キューバ危機

年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事	
1963 昭和38			キャタピラー三菱	ケネディ大統領暗殺	
1964 昭和39		HI盃、石黒修(電機)6連覇 フェデレーション杯に初参加	3重工合併	東京オリンピック 東海道新幹線	
1965 昭和40			マンスリー三菱	ベトナム戦争 日韓基本条約	
1966 昭和41		岩崎寛彌、美智子結婚		中国文化大革命	
1967 昭和42	岩崎彦彌太永眠(9月8日、72歳) 復活16回岩崎彦彌太様追悼大会 初代同好会長 野村義門(銀行、重工)			EC、ASEAN	
1968 昭和43			三菱財団	OAPEC 小笠原諸島本土復帰	
1969 昭和44	第2代会長 中村基孝(商事) 沢松和子が全仏、ウィンブルドンジュニアで優勝		三菱自動車、三菱総研 三菱創業百年記念式典	アポロ11号月面着陸 東名高速開通	
1970 昭和45				日本万国博覧会	
1971 昭和46	第3代会長 牧田与一郎(重工)	石黒修がプロ転向		ニクソンショック	
1972 昭和47	第4代会長 古賀繁一(重工) 女子ダブルス盃(岩崎操子寄贈) 優勝は島野・青井組(海上・重工) 第一回ジャパンオープン			沖縄復帰 札幌オリンピック	
1973 昭和48				第一次オイルショック	
1974 昭和49	全三菱・中国文歓庭球大会		三菱重工爆破事件	田中角栄首相退陣	
1975 昭和50	三菱庭球同好会規約改定(同好会長が大会委員長となり 同好会による大会運営を開始) 沢松和子がウィンブルドン複優勝(アン・キヨムラ)		ローソン1号店	ベトナム戦争終結 第一回サミット(仏)	
1976 昭和51				ロッキード事件	
1977 昭和52					
1978 昭和53	105オ→115オトーナメントに			日中平和友好条約 成田空港開港	
1979 昭和54	HI盃、藤井道雄(電機)最多7回優勝			スリーマイル原発事故 アフガン戦争	
1980 昭和55		日本テニス協会に改称		イラン・イラク戦争	
1981 昭和56	復活30周年記念大会 記念誌発行			スペースシャトル 米でエイズ発見	
1982 昭和57	第5代会長 田部文一郎(商事) 女子ダブルス、島野・今井組(海上・重工)が6連覇			東北、上越新幹線	
1983 昭和58	130オトーナメント創設(岩崎寛彌寄贈) 優勝は安川・吉岡組(キャタピラー) 有明の森完成				
1984 昭和59			記念品のループタイ	日航ジャンボ機墜落 男女雇用均等法	
1985 昭和60				チェルノブイリ原発事故	
1986 昭和61	第一回日本リーグ男子に化学、商事、重工が出場				
1987 昭和62	第6代会長 鈴木永二(化成)	有明コロシアム完成		JR発足 ブラックマンデー	
1988 昭和63	昭和天皇ご病気のため中止		ニコン	瀬戸内大橋開通 青函トンネル	
1989 平成1		田園コロシアム解体		中国天安門事件 ベルリンの壁崩壊	
1990 平成2			三菱マテリアル	東西ドイツ統一	
1991 平成3		第7代会長 飯田庸太郎(重工)			湾岸戦争、ソ連崩壊
1992 平成4		銀行コート			
1993 平成5	HI盃、辻本豊(レイオン)通算6回優勝、23回最多出場			徳仁殿下、小和田 雅子様ご成婚	
1994 平成6			三菱化学		
1995 平成7		松岡修三がウィンブルドンベスト8		阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件	
1996 平成8		伊達公子がウィンブルドンベスト4		野茂英雄MLB新人賞(1995)	



年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事
1997 平成9	第8代会長 藤村正哉(マテリアル)			香港が中国に返還
1998 平成10	115オ→120オトーナメント	JTAが秋分の日をテニスの日と定める		長野オリンピック
1999 平成11		杉山愛が全米ミックス優勝(ブパシ)		€ユーロ
2000 平成12				
2001 平成13	復活50周年記念大会 記念誌発行			9.11米国同時多発テロ
2002 平成14				小泉首相北朝鮮訪問 日韓ワールドカップ
2003 平成15		復活50周年記念大会 開会式 進行コート		イラク戦争
2004 平成16	第9代会長 岸暁(銀行) 岩崎操子永眠	杉山愛が全仏、ウィンブルドン複優勝(クライシュテルス)	東京海上日動火災保険 明治安田生命保険	九州新幹線
2005 平成17	全三井・全三菱テニス大会50年誌('06)		三菱UFJ信託銀行	京都議定書
2006 平成18	男子ダブルス盃創設(同好会より)、優勝は江頭・塩屋組(生命)	国枝慎吾が車いすテニスで世界1位		日本郵政
2007 平成19		国枝慎吾が年間グランドスラム達成		台湾新幹線
2008 平成20	岩崎寛彌(彦彌太、長男)永眠	楽天ジャパンオープン		リーマンショック 日本人ロピーク(128M)
2009 平成21	第10代会長 井手明彦(マテリアル)		三菱第一号館を復元	鳩山内閣(連立)
2010 平成22	130オ→140オトーナメント		三菱UFJ証券ホールディングス	「はやぶさ」帰還 中国GDP世界2位
2011 平成23	復活60周年記念大会、「三菱庭球の歩み」ビデオ制作 畔柳信雄(銀行)が第12代日本テニス協会会長			東日本大震災
2012 平成24		錦織圭がジャパンオープンで日本男子初優勝		東京スカイツリー 安部第2次内閣
2013 平成25				アベノミクス 世界人口70億人 消費税8%
2014 平成26	女子シングルス盃創設(岩崎美智子寄贈) 優勝は鍋谷昌栄(生命) 三菱電機が日本リーグ男子優勝	錦織圭が全米準優勝		
2015 平成27				マイナンバー制度
2016 平成28	全日本テニス選手権の冠に三菱グループ(~2020年)	錦織圭がリオデジャネイロ五輪で銅メダル		英、EU離脱
2017 平成29	第11代会長 大宮英明(重工) 三菱電機が日本リーグ男子優勝			
2018 平成30	三菱庭球同好会ホームページ開設 三菱電機が日本リーグ男子優勝	大坂なおみが全米優勝	三菱UFJ銀行	熊谷で最高41.1℃
2019 令和1		大坂なおみが全豪優勝		
2020 令和1	コロナ影響のため大会中止	大坂なおみが全米優勝	三菱創業150周年記念式典	新型コロナウイルス
2021 令和3	復活70回大会(コロナ影響のため中止) 大坂なおみが全豪優勝、国枝慎吾が金メダル			東京オリンピック・ パラリンピック
2022 令和4	無観客試合で大会再開(東西対抗は中止)、WEB試合中継 岩崎美智子(寛彌、令室)永眠	日本テニス協会100周年	三菱ケミカルグループ	大谷翔平 MLBで MVP(2021)二刀流
				
				
2023 令和5	HI盃選手権試合100周年@MUFGパーク海上、生命コート	国枝慎吾に国民栄誉賞		関東大震災から100年 藤井聡太将棋8冠